

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護援助論Ⅰ (日常生活援助)	対象学生	第2学年
		時間数(単位数)	1単位(15H)	学 期	第1学期
担当講師	新居 由美子 (臨床経験25年、教育経験4年)				
科目目標	1. 小児に対する日常生活援助の方法を理解する。				
授業概要	<p>第1回 小児との接し方</p> <p>第2回 小児期における事故防止 (GW) 事故の内容 予防と安全教育</p> <p>第3回 1. 小児と入院 2. 小児病棟における安全管理 事故防止・感染予防</p> <p>第4回 1. 基本的な生活習慣の形成過程と支援 2. 基本的な生活習慣の獲得と支援 3. 睡眠習慣の獲得と支援 4. 小児にとっての遊びの意義と成長発達に伴う遊びの種類</p> <p>第5回 1. 排泄習慣の獲得と支援 2. 衣服の着脱と清潔習慣の獲得と支援</p> <p>第6回 1. 健全な食生活の獲得と支援 1) 小児にとっての食事の意義 2) 小児の食育 3) 小児の発達段階別の栄養の特徴と支援</p> <p>第7回 臀部浴・おむつ交換、調乳、人工栄養の授乳 (演習)</p> <p>第8回 終了試験：1H</p>				
看護師国家試験出題基準	事故防止と安全教育、生活リズムの確立、基本的な生活習慣の確立、乳児期の運動と遊び、幼児期の運動と遊び、乳児期の栄養と離乳、幼児期の食生活と食育、学童期の肥満や食生活の乱れと食育				
授業の進め方	テキスト、資料、ビデオ教材を取り入れ、小児の成長発達段階と関連させながら各期の日常生活援助について学べるようにする。				
履修のポイント・留意事項	小児看護学概論の知識をふまえて、健康な小児の生活の支援に結びつける。				
テキスト	<p>系統看護学講座 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院</p> <p>系統看護学講座 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院</p>				
評価方法・配点	授業への取り組み状況や、科目終了試験を総合的に評価する。				